

かみね定期検査入渠工事仕様書

船体部

- H-1 定期検査及び船舶国籍証書検認申請手続き並びに受検。臨時変更証申請、交付。
- H-2 船体上下架並びに滞架。193G/T
- H-3 吃水線上下部外板水洗い掃除、発錆部サンダー掛けの上、(腐食が激しい箇所はジェットタガネを併用)エポマリンAC(M)ブラウン、グレー各1回タッチアップ。
吃水線上は、パイオニアプラス807青2回オールオーバー。
吃水線下は、ビニテクトプライマーシルバー1回タッチアップ、A/Fタカタクオンタム内航船2022、1回目ダークブラウン、2回目ブラウン各1回オールオーバー。
船名、船籍港、乾舷標示、ドラフトマーク記入、パイオニアプラス200N白。
※船外トイレ排水口カバー(右舷側)取外しの上、上記と同様。
- 吃水線上下部
- | | | |
|----------------|------|----|
| エポマリンAC(M)ブラウン | 20kg | 4缶 |
| エポマリンAC(M)グレー | 20kg | 4缶 |
| シンナーNo.17 | 16L | 3缶 |
- 吃水線上部
- | | | |
|---------------|------|----|
| パイオニアプラス807青 | 20kg | 8缶 |
| パイオニアプラス200N白 | 20kg | 1缶 |
| シンナーNo.7 | 16L | 4缶 |
- 吃水線下部
- | | | |
|------------------------|------|-----|
| ビニテクトプライマーシルバー | 16kg | 3缶 |
| シンナーNo.12 | 16L | 1缶 |
| タカタクオンタム内航船2022ダークブラウン | 20kg | 12缶 |
| タカタクオンタム内航船2022ブラウン | 20kg | 12缶 |
| シンナーNo.16 | 16L | 3缶 |
- (塗料:ドック支給)
- H-4 両舷シーチェスト開放内部掃除、発錆部サンダー掛けの上塗装。4箇所
- H-5 船底保護アルミ板新替及び増設。
増設箇所については、台床底面両舷4枚(片舷2枚づつ)。
アルミ板:300×150×40mm×38枚(増設分含む)
スタッドボルト真鍮製×8本(増設分、全4箇所)
※パテ仕様について、コルトノズル外周はフルセメント、シーチェスト内はパテなし、
その他は通常(内部白パテ、表面セメント)にて施工。
(部材:ドック支給)
- H-6 両舷錨及び錨鎖繰出し、錨鎖計測受検。
錨及びスイベル(ショートチェーン)発錆部錆打ちの上、エポマリンAC(M)ブラックオールオーバー2回。
(1節目のジョイニングシャックルまで塗装)、各節数マーカerpイオニアプラス200N白塗装。
錨鎖庫内張り開放受検の上、発錆部錆打ちサンダー掛け(特にチェーンパイプラッパ部)の上、エポマリンAC(M)ブラウンタッチアップ1回、グレーオールオーバー1回。付帯工事として錨鎖庫内の掃除、ビルジ処理。
※錨鎖巻き込み時、チェーンコンプレッサーに錨鎖が合わない場合はスライド調整。
- 錨
- | | | |
|----------------|------|----|
| エポマリンAC(M)ブラック | 20kg | 1缶 |
|----------------|------|----|
- 錨鎖
- | | | |
|---------------|-----|----|
| パイオニアプラス200N白 | 4kg | 1缶 |
|---------------|-----|----|
- 錨鎖庫
- | | | |
|----------------|------|----|
| エポマリンAC(M)ブラウン | 20kg | 1缶 |
| エポマリンAC(M)グレー | 20kg | 2缶 |
| シンナーNo.17 | 16L | 1缶 |
- (塗料、部材:ドック支給)

- H-7 船外波止め弁開放整備受検の上、塗装。3個
(塗装仕様はH-3吃水線下部と同様)
- H-8 船首バラスタック(10t)ガット開放掃除、発錆部錆打ちサンダー掛けの上、エポマリンAC(M)グレータッチアップ1回、オールオーバー1回。
エポマリンAC(M)グレー 20kg 4缶
シンナーNo.17 16L 2缶
(塗料:ドック支給)
- H-9 清水タンク(24トン)ガット開放掃除、発錆部サンダー掛けの上、エポマリンFW100タッチアップ1回後、オールオーバー1回、塗装後に水洗い1回、清水24トン供給。
エポマリンFW100 20kg 6缶
(塗料:ドック支給)
- H-10 ボイド及びコファダム開放掃除受検。
- H-11 各水密扉パッキンチョークテスト。15枚
- H-12 粉末消火器(ヤマトSA-17NR)×9本の点検、薬剤交換の上、復旧。(検査記録提出)
- H-13 マグネットコンパス(佐浦計器 T-130VDA)自差修正。2台。(船橋頂部・操舵室内部)
- H-14 レーダー(古野 FAR-2117)空中線、送受信部開放、制御部、表示部も含め、各部掃除の上、コネクター、端子、ネジの緩み等点検後、復旧。
- H-15 船首及び両舷航空機タイヤ及びシャックル、ロープ新替。
1) 船首丸フェンダー用航空機タイヤ(5穴) 49×19×11本
下部シャックル(雑) 19mm×22個(銅線止め)
両舷角フェンダー用航空機タイヤ(5穴) 49×19×6本
両舷船尾丸フェンダー用航空機タイヤ(5穴) 46×18×4本
ロープ(ポリエチレン3つ打ち、色指定なし) 18mm×10m×16本
廃タイヤ処分21本及び廃曳船索(Φ80mm×140m×3本)処分。
(部材:航空機タイヤ46×18×4本船主支給、その他ドック支給)
2) 航空機タイヤ46×18×10本穴あけ(5穴)加工、うち4本を1)の部材として使用。
※航空機タイヤについては、入渠時本船にて持参し、6本本船に積込持ち帰り。
(部材:船主支給)
- H-16 電動通風機(機関室2台、ZP1台)取外し、機関通風機室内部錆打ち、エポマリンAC(M)(グレー)1回オールオーバー。モーター開放ベアリング交換、薬品洗浄の上受検。通風機内外面、発錆部錆打の上、既存塗装箇所ケレン処置し、エポマリンAC(M)(グレー)オールオーバー2回。
・エポマリンAC(M)(グレー) 20kg 2缶
・シンナーNo.17 16L 1缶
(塗料ドック支給)
- H-17 空調装置(室内機・室外機)の熱交換器を薬品洗浄、室内機送風ファンの軸受並びにVベルト交換。冷媒ガス量の確認(補充)、各部復旧後に作動テスト施工。
室外機を養生の上、室内発錆部錆打ちの上、エポマリンAC(M)グレータッチアップ1回、オールオーバー1回。
(空調機:ダイキン SVYCP140J)
エポマリンAC(M)グレー 20kg 1缶
シンナーNo.17 16L 1缶
(塗料:ドック支給)
- H-18 下記クリーニング施工。
1)毛布30枚 2)毛布カバー30枚 3)シーツ30枚 4)枕カバー30枚
5)カーテン30枚 6)レースカーテン6枚 7)カーテン止め40枚

H-19 マスト、CON.DECK及びハウス全層発錆部錆打ちサンダー掛けの上、エポマリンAC(M)ブラウン、グレータッチアップ各1回後、指定色パイオニアプラス白オールオーバー1回。

(ハンドレール、階段、その他甲板上構造物を含む)

・マストは足場設置の上、全灯火を取り外すこと。復旧後点灯テスト実施。

・会社ロゴマーク、船名、甲板上構造物識別マークは各所指定色塗装。

黒:パイオニアプラスN1 赤:パイオニアプラス145 黄:パイオニアプラス346

・必要各所養生をすること。(アンテナ、窓ガラス、ドア等)

エポマリンAC(M)ブラウン 上項目余剰分にて

エポマリンAC(M)グレー 上項目余剰分にて

シンナーNo.17 上項目余剰分にて

パイオニアプラス200N白 20kg 6缶

パイオニアプラスN1黒 4kg 1缶

パイオニアプラス145赤 4kg 1缶

パイオニアプラス346黄 4kg 1缶

シンナーNo.7 16L 2缶

(塗料:ドック支給)

H-20 NAV.BRI.DECK、BRIDGE DECK、UPPER DECK(ブルワーク、階段、その他甲板上構造物を含む)発錆部錆打ちサンダー掛けの上、エポマリンAC(M)ブラウン、グレー各1回タッチアップ後、各指定色オールオーバー1回。

エポマリンAC(M)ブラウン 上項目余剰分にて

エポマリンAC(M)グレー 上項目余剰分にて

シンナーNo.17 上項目余剰分にて

パイオニアプラス442緑 20kg 4缶

パイオニアプラス807青 20kg 1缶

パイオニアプラス145赤 上項目余剰分にて

パイオニアプラス346黄 上項目余剰分にて

シンナーNo.7 16L 2缶

(塗料:ドック支給)

H-21 両舷船首甲板機及び船首ロープリーダー下記工事施工。

(工事は、オーエスシステム(株)技術員指導の基に施工する事。)

1)両舷船首甲板機、発錆部錆打ちサンダー掛けの上、(特にチェーンドラムは入念に)

エポマリンAC(M)ブラウン、グレータッチアップ各1回後、指定色パイオニアプラス807青オールオーバー1回。

2)両舷ロープドラム用ブレーキバンド(上下部)、ブレーキ油圧シリンダー、各クラッチハンドル、チェーン捌きは陸揚げの上、1)の施工をする事。

3)両舷ロープドラム用ブレーキライニング全数新替。

4)右舷船首甲板機陸揚げ、ギア、チェーンドラム取外し、ベアリング、オイルシール新替の上、復旧。

5)船首ロープリーダー開放、油圧シリンダー、ローラー及び油圧モーター陸揚げ、各部点検整備不良部品交換。

発錆部錆打ちサンダー掛けの上、エポマリンAC(M)ブラウンタッチアップ1回、オールオーバー1回。

ビット内部は、発錆部錆打ちサンダー掛けの上、エポマリンAC(M)グレータッチアップ1回、

オールオーバー2回後、各部復旧。

6)両舷船首甲板機ブレーキテスト施工。(ビット借上げ、海上保安部の許可申請を含む。)

エポマリンAC(M)ブラウン 上項目余剰分にて

エポマリンAC(M)グレー 上項目余剰分にて

シンナーNo.17 上項目余剰分にて

パイオニアプラス807青 20kg 2缶

パイオニアプラス346黄 上項目余剰分にて

シンナーNo.7 16L 1缶

(塗料:ドック支給)

- H-22 BRIDGE DECK右舷後方に膨張式救命筏(型式RFD-ToyoMkIV-SC×1台:船主支給)を新設。
ハンドレールを模様替え。
右舷主機関冷用却海水排水口にトイレ排水口カバーと同様のカバー製作取付。
付帯工事として、船尾ハウス部に設置している既存救命浮器12名×2台)並びに架台を撤去処分。
施工箇所は、エポマリンAC(M)ブラウン、グレータッチアップ1回、各指定色タッチアップ1回。
エポマリンAC(M)ブラウン 上項目余剰分にて
エポマリンAC(M)グレー 上項目余剰分にて
シンナーNo.17 上項目余剰分にて
パイオニアプラス807青 上項目余剰分にて
パイオニアプラス442緑 上項目余剰分にて
パイオニアプラス200N白 上項目余剰分にて
- H-23 船橋製図台からサロン壁面へLANケーブル(CAT. 6以上)を新規敷設。
配線は可能な限り隠蔽配線とし、船橋製図台及びサロン壁面にLANケーブル取出し口を設置。
付帯工事として、各天井パネル取り外し、復旧。
- H-24 BRIDGE DECK、BSアンテナ換装。取付台座合わない場合は加工。
45cmパラポラアンテナ BSD-70(横浜システムマリン 電源付き)
- H-25 両舷角フェンダー、ゴムフェンダー固定用ボルト変形箇所(10本)新替え。
付帯工事として、ゴムフェンダー取り外し(6箇所)、受台一部開放の上、復旧。
- H-26 一般諸費用。
1)陸電供給。600kwh 2)清水供給
- H-27 環境対策費。
1)一般廃棄物処理費。
2)船底付着物(貝殻類)廃棄物処理費。
3)廃油、ビルジ処分費。
4)廃ペイント(容器含む)処分費。
5)ゴム製品処分費。
6)鉄くず処分費。(空ドラム・ペール缶)
- H-28 安全対策費。

機関部

- M-1 主機関(ニイガタ6L28HX×2基)
シリンダーカバー開放、吸排気弁及びシートリング、弁ガイド新替え、起動弁摺り合せ、燃料弁開放掃除、ノズルチップ新替の上圧力調整(340K)、各不良部品新替復旧。カラーチェック施工受検。
- M-2 両舷ピストン全数抽出、ピストンピン開放、各部掃除計測(記録提出)
コネクティングロッドセローション部マグナフラックス施工受検。
- M-3 両舷シリンダーライナー全数抽出、各部掃除、ホーニング施工。
各部計測、防蝕ペイント塗布の上復旧。(記録提出)
- M-4 主軸受下半部全数開放各部掃除点検、主軸受クランクピン軸受間隙計測、
並びにクランクピン真円度計測及びカラーチェック施工。
- M-5 クランクデフレクション計測、記録提出。(下架後1回)
クランクケース内掃除、新油張り込み復旧。
- M-6 調速機開放掃除点検の上、不良部品新替復旧。(整備記録提出)
- M-7 主機付属ポンプ開放掃除点検、不良部品新替復旧。
1)海水ポンプ 2台 2)清水ポンプ 2台 3)潤滑油ポンプ 2台 4)燃料供給ポンプ 2台
- M-8 カムケース開放掃除受検。
- M-9 過給機(TSU製 TPS-57D型×2基)
陸揚げ開放、各部点検掃除計測、両舷ベアリングケーシングその他、不良部品新替の上調整復旧。
- M-10 下記冷却器、掃除圧力テスト、亜鉛新替復旧。
1)インタークーラー (内外部) 2台 2)潤滑油クーラー (外部) 2台
3)清水クーラー (内外部) 2台 4)甲板機潤滑油クーラー(外部) 1台
- M-11 両舷ガイスリンガー開放陸揚げ掃除点検、不良部品新替復旧。
- M-12 両舷中間軸受上半部全数(10箇所)開放ベアリング点検受検及び掃除の上、グリス交換施工。
グリス補充はメーカー指定方法とし、各軸受で取り除いたグリス量を計量し、同量を補充すること。
(グリス:コスモダイナマックスグリスEP.2 船主支給)
- M-13 推進器(ZP-31)
推進器陸揚げ、主要部開放点検不良部品新替復旧。
1)両舷プロペラ取外しメーカー発送の上、研磨、シールリング及びシールライナー新替。
2)現油抜き取り処分の上、新油張り込み。
JXスーパーハイランド100×2600L(新油:船主支給)
3)パワーユニット現油抜き取りの上、タンク内部掃除、新油張り込み。
JXスーパーハイランド68×200L(新油:船主支給)
4)ZP潤滑油クーラー海水側掃除、亜鉛新替、圧力テスト施工。
5)ZP室開口部天蓋取付台座は、サンダー掛けの上、錆止め並びに上塗り緑塗装。
6)両舷ZP推進器台床側面(海水面)を入念に錆打ちサンダー掛けの上、エポマリンAC(M)
グレー、ブラウン各1回オールオーバー、ビニテクトプライマーシルバー1回オールオーバー、
A/Fタカタクオンタム内航船2022、1回目ダークブラウン、2回目ブラウン各1回オールオーバー。
7)両舷排気管取外し、ホルトナット、メタルガスケット(400A)交換並びにフランジ面腐食部肉盛り溶接。
8)上部ギアケース取外し、点検カバー開放。各ギア及びベアリング点検及びカラーチェック施工。
クラッチ(ブレーキ)開放点検、計測、カクリング、パッキン取替え復旧。(記録提出)
9)両舷チャージポンプ及びサーボ弁新替。(取り外したサーボ弁は本船積込持ち帰り)
10)旋回油圧モーター取外し、旋回歯車及びピニオンギア歯当たり点検。
シールキャリア摩耗確認の上、旋回筒オイルシール取替え復旧。
11)ギアカップリング及びピニオン軸抜き出し、ギア並びにベアリング点検。カラーチェック施工。

- 12) 下部ギアケース開放、プロペラ軸抜き開放掃除整備、テーパ一部マグナフラックス受検。
各ギア歯当たり及びベアリング点検カラーチェック施工、復旧。
13) 組立後、油密テスト施工。

- M-14 油圧クラッチ(AGCP162AY×2基)主要部開放点検、ニードルベアリング及びフィルター等不良部品新替。
- M-15 主発電機関(ヤンマー6CHL-HTN×2基)
シリンダーカバー開放、吸排気弁摺り合せ、燃料弁掃除、ノズルチップ新替の上、圧力調整、各不良部品新替復旧。カラーチェック施工受検。
- M-16 両舷ピストン全数抽出、ピストンピン開放、各部掃除計測。(記録提出)
- M-17 両舷シリンダーライナー全数抽出、各部掃除計測、防蝕ペイント塗布受検復旧。(記録提出)
- M-18 過給機(TF07-13M)開放整備、不良部品取替の上、調整復旧。
- M-19 クランクデフレクション計測、記録提出。(下架後1回)
- M-20 下記クーラー取外し内外部掃除、亜鉛新替、圧力テスト施工。
1) インタークーラー 2台 2) 清水クーラー 2台 3) 潤滑油クーラー 2台
- M-21 下記ポンプ開放掃除点検、不良部品新替復旧。
1) 海水ポンプ 2台 2) 清水ポンプ 2台(サーモスタッドの開放掃除、作動テスト含む。)
3) 潤滑油ポンプ 2台
- M-22 機関吊り上げ主軸受開放掃除、クランクピン計測及びカラーチェック施工受検復旧。
付帯工事として、ギアケース、オイルパン取外しの上、ブロック横転組立復旧。
クランク軸オイルシール交換。
- M-23 クランクケース内掃除の上、新油張り込み施工。(新油:LOサービスタンクより。)
FO、LOフィルターエレメント交換。
- M-24 セルモーター及びオルタネーター開放点検整備。
- M-25 両舷発電機の側蓋開放、内部薬品洗浄及びエアブローの上復旧。 2台
- M-26 主配電盤各部点検及び電路メガーテスト施工。(記録提出)
- M-27 空気圧縮機(三和鉄工S5A型×2基)
ピストン抽出、主要部開放掃除点検、不良部品新替復旧。
- M-28 空気槽(主2)ヘッダー取外し、開放諸弁摺り合せ受検復旧。
- M-29 下記電動機開放、内部薬品洗浄、各軸受新替復旧。
1) 空気圧縮機モーター(3.7kw) 2台
2) 燃料移送ポンプモーター(0.4kw) 1台(清浄機用)
3) GSポンプモーター(7.5kw) 1台
- M-30 下記ポンプ開放掃除、不良部品新替復旧。
1) GSポンプ 1台
2) ビルジポンプ 1台
3) 予備潤滑油ポンプ 1台
4) 燃料移送ポンプ 1台(清浄機用)

- M-31 LOドレンタンク(4KL)ガット開放掃除、潤滑油抜き取り処分の上、新油張り込み。
JXマリンT204×3400L(新油:船主支給)
- M-32 FOドレンタンク(30KL)及びサービスタンクガット開放、燃料抜き取り保管の上、掃除受検。
- M-33 清水膨張タンク開放、内部掃除復旧。
- M-34 泡消火剤タンク開放、内部点検受検。
- M-35 船底弁(12個)開放掃除摺り合せ復旧。
・5K200A×1
・5K125A×2
・5K100A×1
・5K32A×2
・5K50A×4
・16K15A×2
- M-36 甲板機械油圧タンク内掃除及びフィルターエレメント取外しの上、薬品洗浄。
作動油抜き取り処分の上、新油張り込み。
JXスーパーハイランド46×400L(新油:船主支給)
- M-37 機関室ビルジ(MAX3t)陸揚げの上、ビルジ溜り掃除。(ビルジ処理証明書発行)
- M-38 遠隔操縦装置点検整備施工。C級
- M-39 油水分離器開放整備の上、作動テスト施工受検。
- M-40 機関各部開放検査並びに効力検査受検立会い。
係留運転並びに海上試運転立会い。機関各部計測の上、記録提出。
海上試運転終了後、クランク室ドア開放クランク点検復旧、並びに
燃料及び潤滑油ストレーナー(1次、2次)開放掃除復旧。
- M-41 潤滑油清浄機エレメントペール3缶、廃棄処分の上、交換。
- M-42 船底弁海水ストレーナー(主機関、主発電機、GS)開放掃除の上、受検。
単式海水濾器
・5K125A×2
・5K100A×1
・5K32A×2